

海の生き物観察講座（三豊市会場） 開催しました！



- 日時 令和5年7月2日(日)15:00~17:00
- 場所 大浜海岸(三豊市詫間町大浜)
- 講師 田中 真利子 氏 (かがわ里海ガイド)
- 講師アシスタント 山田 富士夫 氏 (かがわ里海ガイド)
安井 里香 氏(かがわ里海ガイド)

7月2日(日)、大浜海岸にて海の生き物観察講座を開催し、29名が受講しました。本講座では、海辺の生き物観察を通して、香川の磯の生き物の生態について学びました。

講師の紹介のあと、磯に棲む生き物について解説がありました。海では一日の間にその水面の高さが変化し、水没したり干上がった場所によって生息する生き物も変わり、潮の引いたあとの潮だまりでは様々な生き物を観察することが出来るそうです。次に、イシダタミ、カメノテなどの面白い形をした貝の紹介があり、子どもたちは大いに盛り上がっていました。そして、観察の際の注意事項と調査シートについての説明を聞き、大浜海岸へ移動しました。



子どもたちにより安全に海を知ってもらうため、観察の前にライフジャケットを着用しました。その後、グループに分かれ陸側から水際に向かって調査を開始しました。岩礁にはケガキがびっしりとくっついていました。さらに、大きな岩の隙間を覗いてみるとカメノテが集団で生息しており、子どもたちは初めて見る海の生き物に興味津々な様子でした。水際に近づくにつれ、生息する生き物にも変化がありました。小さな石の表面にはオオヘビガイ、ヒザラガイ、イシゲなどが生息し、受講者たちは発見した海の生き物について講師の解説を聞きながら調査シートに記入していきました。



潮だまりには指標生物以外にも、タコ、ナマコ、クモヒトデ、ムラサキウニ、ツメタガイの卵などたくさんの生き物が生息していました。受講者は採取した生き物を容器に移し、写真を撮るなどじっくり観察していました。その後、採取した生き物を集めてみんなで観察しました。水が苦手なタマキビや、一見するとカニに見えるイソカニダマシについてのお話には子供たちは興味津々の様子でした。採取した生き物は観察後、海に返しました。



集合場所に戻り、今回観察できた指標生物の種類と量を集計し、調査記録シートのまとめと発表を行いました。今回の観察結果では、海の水質は“きれいな海”で、生物環境は“豊か”であることが分かりました。受講者から、「初めて見るものが多くて楽しかった」「去年も参加したが、今年の方が生き物が多かった」などの感想がありました。

